

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち購読無料
毎月発行

年末間近

「ひめのほつぺた」

本格始動

もちの製造が本格始動。

すでに9月から新米ひめのもちの製造は始まっているが、11月は毎日が年末状態。1日に20升(30Kの米袋1袋分)つく日もさらである。3升ぶきの餅つき機4台もうなりを上げて動いている状態。餅つき機のどれ一つ壊れても、製造に支障が出る。メンテナンスは所長の仕事。消耗部品を交換し、常に良好な状態を保つ。

利用者の皆さん・職員もフル稼働。

想像してみてください。毎日ご飯を炊くときにお米を3合とか5合洗う。たいした労力ではない。が、1

日にこの40倍の米を毎日洗うとなれば、かなりの労力である。無理な労働にならないように十分に配慮する。

ここまでは頑張りにはそうさせる理由もある。先般、農まる園芸赤磐店で周年記念祭があった。そのチラシにみぞくちの餅も写真入りで掲載され、実演としてふるまい餅も提供した。売れるからもちと商品を置いてほしいと催促も入る。

これから正月に向けてさらに忙しさは増す。就労の皆さん・職員とも一致団結して取組んでいく。所長も腰痛を悪化させないように頑張りたい。

「あつい

あいつに

「ご用心」

11月30日インフルエンザの予防接種実施。例年は吉備路学園へ行つて接種をしていたが、今年はみぞくちにドクターが来て予防接種。

13時ドクター来所。食堂を診察室としてスタンバイ。利用者の皆さんは少数ずつ廊下で待機。「〇〇さんどうぞ」呼ばれた順に食堂に入り問診・予防接種。さながら病院の様相。これまでみぞくちの中で予防接種をしたことは無かったが、予想以上に皆さん落ち着いて、全員予防接種が出来た。

さあ備えはできた。これからやってくる毎年のあいつ。今年はA型かB

障害者週間啓発事業

あいサポートフェスタ2018

11月27日・28日、イオンモール岡山1階未来スクエアにて、「あいサポートフェスタ2018」が開催された。これは12月3日から

の障害者週間の啓発事業である。主催は、岡山県、岡山県社会就労センター協議会・岡山県セルプセンター、そしてみぞくちが所属する岡山県知的障害者福祉協会だ。福祉の作業所で作った商品の販売、ステージ発表、ワークショップ等が会場にぎわせた。

催し2日目には生活グループの皆さんも買物がてら立ち寄ってくれた。たくさんの人の中、ちよつと緊張も見られたが、思い思いの

型かはたまた新手が来るのか。

手洗い・うがい・マスクの着用。しっかり食事をとってしっかり眠る。体調を整え、今年こそはあいつと

買物もできたようだ。

ところで、所長は開催実行委員として、会場の係りを担当。前日は21時から23時頃まで会場の準備、当日は7時過ぎから21時過ぎまで会場の係り。これが翌日も続いた。とてつもない労働時間。長時間の立ち仕事は足腰の軟骨を究極まで縮める。帰りの車内のバックミラーがいつもの位置と違って見えた。だが、苦労はしたが多くのお客さんに障害者週間の啓発が出来たと実感している。こういったイベントだけでなく、日常においても啓発が大切なことを再認識した。

の遭遇を何としても阻止する。

利用者の皆さん・ご家族の皆さん、もしもあいつに出会った時は、みぞくちにご一報願います。

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち

購読無料
毎月発行

年末間近

「ひめのほっぺた」

本格始動

もちの製造が本格始動。

すでに9月から新米ひめのもちの製造は始まっているが、11月は毎日が年末状態。1日に20升(30Kの米袋1袋分)つく日もさらである。3升ぶきの餅つき機4台もうなりを上げて動いている状態。餅つき機のどれ一つ壊れても、製造に支障が出る。メンテナンスは所長の仕事。消耗部品を交換し、常に良好な状態を保つ。

利用者の皆さん・職員もフル稼働。

想像してみてください。毎日ご飯を炊くときにお米を3合とか5合洗う。たいした労力ではない。が、1

日にこの40倍の米を毎日洗うとなれば、かなりの労力である。無理な労働にならないよう十分に配慮する。

ここまでは頑張りにはそうさせる理由もある。先般、農まる園芸赤磐店で周年記念祭があった。そのチラシにみぞくちの餅も写真入りで掲載され、実演としてふるまい餅も提供した。売れるからもちと商品を置いてほしいと催促も入る。

これから正月に向けてさらに忙しさは増す。就労の皆さん・職員とも一致団結して取組んでいく。所長も腰痛を悪化させないように頑張りたい。

「あつい

あいつに

「ご用心」

11月30日インフルエンザの予防接種実施。例年は吉備路学園へ行つて接種をしていたが、今年はみぞくちにドクターが来て予防接種。

13時ドクター来所。食堂を診察室としてスタンバイ。利用者の皆さんは少数ずつ廊下で待機。「〇〇さんどうぞ」呼ばれた順に食堂に入り問診・予防接種。さながら病院の様相。これまでみぞくちの中で予防接種をしたことは無かったが、予想以上に皆さん落ち着いて、全員予防接種が出来た。

さあ備えはできた。これからやってくる毎年のあいつ。今年はA型かB

障害者週間啓発事業

あいサポートフェスタ2018

11月27日・28日、イオンモール岡山1階未来スクエアにて、「あいサポートフェスタ2018」が開催された。これは12月3日から

の障害者週間の啓発事業である。主催は、岡山県、岡山県社会就労センター協議会・岡山県セルプセンター、そしてみぞくちが所属する岡山県知的障害者福祉協会だ。福祉の作業所で作った商品の販売、ステージ発表、ワークショップ等が会場にぎわせた。

催し2日目には生活グループの皆さんも買物がてら立ち寄ってくれた。たくさんの方の中、ちよつと緊張も見られたが、思い思いの型かはたまたま新手が来るのか。

手洗い・うがい・マスクの着用。しっかり食事をとってしっかり眠る。体調を整え、今年こそはあいつと

買物もできたようだ。ところで、所長は開催実行委員として、会場の係りを担当。前日は21時から23時頃まで会場の準備、当日は7時過ぎから21時過ぎまで会場の係り。これが翌日も続いた。とてつもない労働時間。長時間の立ち仕事は足腰の軟骨を究極まで縮める。帰りの車内のバックミラーがいつもの位置と違って見えた。だが、苦労はしたが多くのお客さんに障害者週間の啓発が出来たと実感している。こういったイベントだけでなく、日常においても啓発が大切なことを再認識した。

の遭遇を何としても阻止する。

利用者の皆さん・ご家族の皆さん、もしもあいつに出会った時は、みぞくちにご一報願います。